

# 心から、「ありがとう」って 言い合える社会へ

西南ゆりの会会長 井原絹江  
(法法73期)

西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)会員の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私たちの母校西南学院では、昨年4月、地域や同窓生、企業などとの連携を推進し社会貢献の拠点となる学外連携施設がオープンしました。西南ゆりの会ではこの西南コミュニティセンター開館記念行事として、地域や同窓生の皆さんと交流を深めるため、昨年10月に「西南ゆりの会文化祭」を、今年3月には、第31回ミニサロン「お茶を楽しむつどい」を開きました。お蔭さまで、両行事とも多くの方に参加いただき成功裡に終えることができました。これも偏に大学及び同窓会並びに多くの皆さまの温かいご支援の賜物と心から感謝いたします。さて西南ゆりの会では、今年度は、10月6日に大学2号館

16号

西南学院大学女子同窓会  
(西南ゆりの会) 機関誌  
2008年12月1日発行  
発行人 井原絹江  
福岡市早良区西新6-2-92  
西南学院大学同窓会内

上昇しています。しかし、女性が置かれた現状をみますと、今なお多くの課題があります。第一子出産後に約6割の女性が離職を余儀なくされており、出産や育児のために一度仕事を離れると、なかなか再就職が難しいのが現実です。

このため、女性が仕事と家庭を両立して働くことができるように、男女雇用機会均等法、育児介護休業法等といった関係法が整備されるとともに、福岡県でも「子育て応援宣言企業」登録制度の推進など、女性が希望を持って働き、いきいきと生活することができるよう社会づくりが進められています。

これから社会に出ようとする女子学生の皆さんへ、女性労働の現状を踏まえていただきながら、自分は自分の人生をどう生きたいのか、どう働きたいのか、どのような職業に就いて社会にどう貢献したいのか、会社選びをする前に、じっくり考え、かけがえのない人生を自分らしく心豊かに過ごしていただきたいと、企画したものです。女性には、結婚、出産、育児と様々な転機がおとずれますが、自らの意思で選択し、自分らしく生きることができる社会こそ、男女が共に自立し支え合う、男女共同参画社会ではないでしょうか。それはまた、女性とか男性とか年代とか関係なく、もつとお互いが気持ち良く、心から小さな感動をしながら「ありがとう」って言い合える、そんな社会かなと思います。それぞれがそれぞれにできることをしながら、お互いのことを感謝したり、励ましあったりする。そんな社会の実現に、西南ゆりの会の活動がつながることを心から願っています。

301教室で在学生のためのキャリア支援講座「会社選びをする前に」を開催しました。

戦後の日本は、妻が家庭にいるという前提のなかで、正社員として仕事に専念するかたちと、パートのような労働をするというかたちで社会が組み立てられ現在もありかかわっていない状況です。このような中、女性の社会進出は進み、今では女性が全労働力の4割を占めるなど、女性の比率は年々

## 西南学院大学チャペル竣工記念

### 西南ゆりの会第10回新春のつどい SWEET HOME SEINAN 福岡が生んだミュージカルの星 井上芳雄が母校で語り歌う



西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)では、ミュージカル・スター井上芳雄さんを迎えて、新しい大学チャペル竣工の記念行事を行います。

井上芳雄さんは東京芸術大学在学中にミュージカル「エリザベット」でデビューされ、舞台を中心に多方面に活躍中で西南学院高校出身です。1月3日から博多座で公演の「ミス・サイゴン」の合同をめぐってご出演ください。西南学院への思い、素晴らしい歌声に新春のひとときをお楽しみください。

主催／西南学院大学女子同窓会(西南ゆりの会)  
共催／西南学院大学  
後援／西南学院大学同窓会  
協力／(株)キャンパスサポート西南

#### 記

●日時／2009年1月15日(木)  
18時30分開演(開場17時30分)

●会場／西南学院大学チャペル  
●入場料／三千元(全席自由席・904席)

●お問い合わせ先／西南学院大学同窓会  
TEL 092-831-7048

●チケット販売のお問い合わせ先  
(株)キャンパスサポート西南(窓口販売のみ)  
月曜～金曜(午前9時～午後5時)  
TEL 092-823-3576

※往復葉書での入場券申込方法  
氏名・住所・連絡先電話番号・学部・学科・卒業年・希望枚数(お一人2枚まで)を書いて左記へお申し込みください。  
TEL 814-8511

福岡市早良区西新6-2-92  
西南コミュニティセンター1階  
西南学院大学同窓会受付 西南ゆりの会

受付順に当会から返信致しますが、席の数が限られておりますので、できるだけ早くお申し込みください。売り切れの場合はご容赦ください。

## 西南ゆりの会文化祭

# 華やかな雰囲気 に彩られて

2007年10月20日、西南コミュニティセンター開館記念行事として西南ゆりの会文化祭が開催されました。空が高く澄み渡った爽やかな秋晴れの午後、卒業生が日頃の趣味やサークル活動で磨いた成果を披露しました。

### 前学長の講演とギター演奏

前学長である村上隆太先生の講演「勤しむこと、楽しむこと」が西南コミュニティセンターのホールで行われました。先生が学長として海外に向かれた際のエピソードなど、学長としてご経験なされたことの数々、教授としての学生との関わり、ご専門である中世英語方言学について



村上隆太前学長のクラシックギター演奏

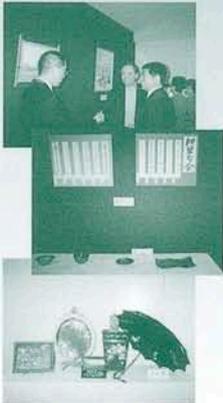
てなど、ユーモアを交えた、経験豊かなお話に、参加者は熱心に聞き入っていました。

先生は、釣り、テニス、囲碁、絵画、クラシックギターなど、数多くの趣味をお持ちでいらっしゃるということで、「仕事も趣味も新しい目標を持ってチャレンジし、励み、勤しみ、楽しむ。何かに夢中になって熱中することで、私たちは何かを得ていくのではないのでしょうか。」と語られました。

引き続き、村上先生によるクラシックギターの演奏が行われました。先生のお人柄が表れた、心に響くあたたかで柔らかな音色に、聴衆からは盛大な拍手が送られました。

### 多彩な展示物

村上先生の講話と演奏のほかには、作品



作品展示



お茶会風景

展示、お茶会、西南ブリエールによる合唱、インテリアグリーン教室、ワイン講座が開かれました。

多目的室では、絵画や布花、書、陶芸、生花、金継ぎ工芸、クリスタラインペインティング、パッチワーク、俳句などの様々な作品が展示され、訪れた人たちは作品の前で立ち止まり、「素晴らしい作品ですね。」と言葉を交わしながら、見入っていました。

できたばかりのお茶室ではお点前が披露され、お抹茶が振る舞われました。大学茶道家からは5人の学生さんのお手伝いをいただきました。参加者は、秋の穏やかな日の光の差し込む静かな空間で、和の文化にふれ、心落ち着くひとときを過ごしました。

### ワイン講座やグリーン教室

ワイン講座では桑野綾子さん(75期)を講師に、ボルドー・ブルゴーニュ・ボジョレーといった3種類の代表的なフランスワインのテイastingをしました。ワインは水を一切使わないなど他のお酒との違いや製造過程の説明などのお話を聞きながら、手作

りのオードブルをいただきました。

インテリアグリーン教室では石井康子さん(80期)を講師とした講座が開かれました。様々な種類の観葉植物が用意され、寄せ植え体験を行いました。「室内栽培材を使うことで、食卓などにも観葉植物を気軽に置くことができます。今回の講座が、身近な生活に植物を取り入れていただくきっかけになればと思います。」と講師の石井さん。石井さんの丁寧な指導のもと参加者は、「とても楽しく充実した時間を過ごせました。今度は自宅でも試してみたいと思います。」と話していました。



ワイン講座(桑野綾子講師)



インテリアグリーン教室(石井康子講師)

今回、初めての試みとなった「西南ゆりの会文化祭」は、どのイベントも大盛況で、会場は活気に満ち溢れていました。

参加者からは、「お茶会といった、普段の生活では、なかなかふれることのない文化を体験することができて、有意義なひとときを過ごすことができました。」「またこのようなイベントに参加したいです。」という声が聞かれました。

明るく、華やかな雰囲気 に彩られた文化祭。120名の参加者にとって、心豊かな秋のひとつとなったようです。

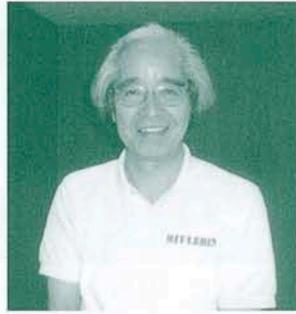
(商経03期 井上容美)

# ◆学部は今

## 101年の歴史を持つ神学部

### 青野太潮神学部長にお聞きする

本学の大きな特徴として全国でも数少ない神学部の存在がありますが、ほとんどの卒業生は神学部に関して、ミステリアスなイメージを持っているのではないのでしょうか。今回は2001年4月より千隈の地から再び西新キャンパスへと統合され、身近となり、存在感を増す神学部について学部長の青野教授にお話を伺いました。



※青野先生のシャツは久山療育園を支援するものです。胸に印刷されている文字のミットレーベンMIT-LEBENは村上寅次元学長が考えた和製ドイツ語で、「共に生きる」という意味が込められています。

### 神学部の歴史について お聞かせ下さい。

神学部建学の源流は1907年に創立された福岡バプテスト神学校にあり、西南学院より長い101年という歴史を持ちます。今年には1年遅れではありますが、本学において開催された日本バプテスト連盟全国壮年大会の中で建学100周年をお祝いしました。

校舎と寄宿舎は当初大名にありましたが、その後西新、千隈へと移転し、千隈キャンパス時代の1966年に文学部神学科

より神学部神学科に昇格しました。

現在神学部には「神学コース」と「キリスト教人文科学コース」の二つのコースがあります。

### 神学部の特色とは なんでしょうか。

「神学コース」は将来牧師やキリスト教界の指導者や伝道者を目指す人のもので、日本全国から学生が集まります。それ故に大卒の社会人3年次編入が大半で、男女は問いませんがクリスチャンであることは絶対条件です。これに比べ「キリスト教人文科学コース」はノンクリスチャンにも門戸を開き、キリスト教を基礎とした人文学を幅広く学習します。卒業後の進路は他の文系学部と同じく一般の企業にも就職しています。両コース共徹底した少人数教育で、きめ細かい指導を受けることができます。学生には学年を超えた交流があり、アットホームな雰囲気

部です。

男女比については8対2と男子が多いのですが、女性で牧師を目指す人など、今後女子神学生の入学がおおいに期待されています。

### 特別なカリキュラムが 組まれていますか？

聖書を原典で読むためにヘブライ語・ギリシヤ語・教会ラテン語など欧米外国語の基礎を学びます。また美術や音楽といったキリスト教文化の精髓に触れる力リキラムなどがあります。学生の主体性が重んじられて、広い科目選択の自由が与えられています。



田村さん・青野神学部長・筆者

先生のお話を  
お伺いしていると、神学は決して特殊で無縁なものではなく、本学に在籍した誰もが感じる西南スピリットの根源であるように思

いました。私は今回直接先生とお話ができるという素晴らしい機会が与えられたことを神に感謝いたしました。又お忙しい中、先生には長時間のインタビューに快く応じていただきありがとうございます。なお、田村明美(文英61期)さんに行していただきました。

(国際84期 大嶋悦子)

## セピア色の一枚



1978年、卒業式での西南フォト愛好会(写真部)の写真です。この愛好会の78期卒業生は女子学生が男子学生より多く、女子のパワーを感じさせる学年でした。当時の様子を現在中村調理製菓専門学校・中村国際ホテル専門学校講師として活躍中の米田由美子さん(外英78期)にお伺いしました。以下は米田さんのお話です。

最近卒業式は袴姿が主流ですが当時はほとんど振袖で、袴は全体で一人だけでした。私のドレスも一人でしたが(笑)。その頃愛好会は立ち上がったばかりで、先輩達とアルバイトをしたお金で機材を買って揃えクラブを作り上げていきました。ピオネ荘や九重での合宿の際、男性と同じ屋根の下に寝るなどんでもないという理由で一度も参加できなかった方もいました。まだそのようなことのある時代でした。

※卒業証書はこの頃から簡型から現在の二つ折りの形になりました。

(国際84期 大嶋悦子)

第31回「ミニサロン」『お茶を楽しむ』

# 歴史を学びお煎茶で交歓



2008年3月29日、春うららかな土曜の午後のひととき、西南コミュニティセンターで、西南ゆりの会第31回ミニサロン「お茶を楽しむ」が開催されました。

今回は、大きく二部構成で第一部は講演会、第二部は同じコミュニティセンターの茶室で、お茶会が開催されました。春らしいお花とおひな様などのお道具で飾られて、当日のお茶席は、河本光博(博子)煎茶「光風流」正教授に後見とご指導をいただきました。煎茶の楽しさは、玉露煎茶、番茶、香煎といったお茶の種類や季節に応じて、様々な煎れ方ができることで、参加された方もいつもの抹茶ではなく、めずらしい「煎茶」のお点前を充分楽しめたことと思います。

第一部は、午後1時30分より、博多町人文化勲章も受賞され、福岡の歴史に特別造詣の深い福岡県観光アドバイザー岡部定一郎氏に「栄西禅師と共に中国から博多へやってきたお茶」という題で卓話をいただきました。博多は古くから中国渡来文化の受け入れ地であり、お茶もやはり博多を通して日本全国に広まっています。

お茶席の順番待ちの間に、新しい赤煉瓦造りの建物が並ぶ東キャンパス見学があり、遠い昔の面影とはすっかり変わってしまった大学院や法科大学院、大学博物館などを案内して頂きました。そして、まだ、完成から日が浅く一般公開されていないランキンチャペル跡地に建った新しいチャペルも特別に見学させていただくことができました。久しぶりに母校の風、雰囲気に触れ、若い頃に立ち返ったような、ゆつたりとしたやさしい時間を過ごすことができました。

第一部は、午後1時30分より、博多町人文化勲章も受賞され、福岡の歴史に特別造詣の深い福岡県観光アドバイザー岡部定一郎氏に「栄西禅師と共に中国から博多へやってきたお茶」という題で卓話をいただきました。博多は古くから中国渡来文化の受け入れ地であり、お茶もやはり博多を通して日本全国に広まっています。

(外英77期 山崎芳子)



## 【お茶会の感想】

30年のブランクを経て、ゆりの会茶会でお煎茶のお点前をする羽目になりました。とても不安でしたが、いざ、お稽古を始めてみるとうれしい事もありました。学生時代に稽古をした作法を意外にも身体が覚えており、自然に所作ができたことです。これを機に茶道の魅力を再認識し、また、お稽古を再開しようかと考えているこの頃です。  
(商商68期 吉田扶久子)

キャンパス見学では、その変貌ぶりに驚くばかりでした。また、当日特別に献堂式前のチャペルに入ることができ、その美しさに感動しました。  
(商商83期 井上暁子)

初めて一般参加しました。「お茶講話」はゆっくりした中で聞けました。キャンパスめぐりは、アンネの薔薇、博物館の2階講堂、元寇防塁遺跡など好奇心と感動の連続でした。  
(佐賀市 竹下ますみ)

煎茶の茶会は初めての経験でした。座席は立礼でしたのでリラックスして参加できました。岡部先生のお話は日本史を受験科目にしているのでも参考になりました。  
(高校生)

生まれて始めてのお茶会で少し緊張しましたが、お茶もお菓子も大変おいしくて、もつといたできたかと思えました。雰囲気も堅苦しくなかったので楽しい時間が過ごせました。  
(高校生)

# 共に輝く

## 「障害者スポーツ大国・九州」を目ざして

飯塚国際車いすテニス大会会長 前田恵理さん（商経77期）

輝く同窓生を紹介し、そこから元氣をもらって共に輝いていこうというコーナーです。今回は北京パラリンピック車いすテニス金メダルの国枝慎吾選手を育てた飯塚国際車いすテニス大会の会長として活躍されている前田恵理さんにお話を伺いました。



前田恵理さん

### ◎車いすテニスに携わったきっかけは？

26年前、総合せき損センターの依頼で指導をはじめたのがきっかけです。学生時代硬式庭球部に所属していたのが縁で、当時テニスのインストラクターをしておりました。

### ◎車いすテニスとは？

ボールのパウンドが2回まで認められる以外はコートもルールも一般のテニスと変わりません。

車いすは動きやすいように車輪の形が通常のものより改良され、転倒しないように車輪がたくさんついていきます。実際座って見たことがあります、この状態でのプレーは大変難しく、選手達の素晴らしさを痛感しました。

### ◎飯塚国際車いすテニス大会とは？

1985年に第1回が開催された世界レベルの大会です。なかでもオープンクラスは全米・全英・全豪とあわせてスーパースリーズの一つです。国枝慎吾選手は2007年よりこの四大大会制覇・グランドスラムを達成しています。

毎年5月に開催され、2008年は国内外より男女150名の選手が出場しました。大会は延べ2000人にも及ぶボランティアにより支えられています。

鍛え抜かれた選手たちの白熱した戦いが繰り広げられております。皆様是非ご観戦くださいますようお願いいたします。

### ◎ご自身のお仕事との両立は？

LPガスの販売店の経営と子育てもあり、まさに時間との戦いです。与えられた24時間をいかに有効に使うか、頭を切り替え、絶えず優先順位を決めて行動することにより両立させております。



2008年飯塚国際車いすテニス大会記念写真

### ◎最後に後輩へのメッセージを！

健康に感謝しながら、できるだけたくさんの人と出会ってほしいと思います。いろいろな人に教わることで大きなものを得ることが出来ます。自分も楽しみ相手も楽しむ、よい関係を人と作ってください。

\* \* \*

前田さんは北京パラリンピックでの車いすマラソンの応援に行かれた際、メダルでもタイムでもない…完走し、ただその喜びに号泣する選手を目の当たりにされ心打たれたそうです。頑張っている選手たちの姿は社会の障がい者に対する認識を確実に変えているのではないかと思います。

（短見68期 高山和代）

## ホームページができました

2007年12月の西南学院同窓会ホームページ開設に伴い、同ホームページ上に待望の「大学女子同窓会(西南ゆりの会)」のページを創っていただきました。今後は、行事等の案内をタイムリーにお届けしていく予定です。みなさま、ぜひ一度アクセスしてみてください。

西南学院大学同窓会

検索



# OG女性合唱団「西南プリエール」 22年間を振り返って

(外英70期 古賀和子)



1986年の5月、西南学院創立70周年記念音楽会がサンパレスで開催されました。現役学生、OB、OG、教職員230余名の合唱団と100余名のオーケストラが結成され、ソリストをお迎えして、故福永陽一郎先生の指揮で盛大な音楽会となりました。終了後、OGの中の有志が集まり、同年1月に亡くなられた森川和子先生の御意志を継いで、2ヶ月後の7月に結成されたのが、女声合唱団西南プリエールの始まりです。

それから22年：初期の頃は西南シャントゥールや同窓会の暖かい御配慮によって、何度もステージを経験する機会を与えていただき、その内少しづつ独り立ちして、1993年には初めて単独の演奏会を開催致しました。それ以後も幾つかの演奏会を経験して今日に至っています。その間、女性ならではの人生の様々な節目：結婚、出産、育児、夫の転勤に伴う転居、介護：自身の病気等々によってメンバーも少しづつ替わり、現在は団員20名で、指揮者野口儀先生(外仏77期)のもとで活動しています。

単に「同窓生で楽しく歌う」で終わらず、声の響きを揃えて、正しい音程で美しいハーモニーを作り、その中に身を委ねる事が大切と野口先生に繰り返し教えて戴いている私達です。しかし、卒業後何十年経つても、学生時代に培った西南スピリットを発揮し、年齢層を乗り越えて、和気あいあいとした雰囲気の中で練習に励んでいます。

今年5月には、西南学院創立92周年記念音楽会が新築の大学チャペルで開かれ、フラウエン・コールOGの有志との合同ステージを務めました。また、11月には西南コミュニティセンターでアンサンブルアウラとの合同演奏会を開きました。毎年12月には西南学院コミュニティクリスマスに参加させていただいています。



振り返れば、この22年間いつも快くピアノ伴奏を引き受けて下さる杉村三枝子先生(活水女子大講師)はじめ、数多くの方々の御厚意に支えられて活動を続けてこられました。そのお一人、お一人に心より感謝しつつ、私達の歌が、聞いてくださる方々の心に優しく入って、共に楽しい気持ちになってくださればと願っています。

最後になりましたが、団員が増える事も私たちの願いの一つです。みなさん一緒にハーモニーを楽しみませんか。詳細は次の通りです。

- 練習場所/福岡YWCA会館
- 練習日/第1・第3土曜日 午後2時
- 問い合わせ先/同窓会事務局
- 電話/092-831-7048
- FAX/092-831-7064

## OG通信

# 通訳ガイド・ボランティアになって

(外英75期 野副信子)

西南学院大学を卒業後にJALの国際線客室乗務員として、結婚後は夫の医学研究留学に伴う2年間の渡米や英語塾の講師等、何かしら英語と関わりがある生活でしたが、通訳ガイド・ボランティア団体、福岡S.G.Gクラブの存在を知ったのは約3年前です。

このクラブは独立行政法人JNTO(日本政府観光局)傘下の全国規模団体の福岡支部で、月に1度、福岡国際空港到着ロビーのインフォメーションや、アクロス福岡2階の情報ひろばで外国のお客様に観光の案内や質問にお答えしています。



我が家で留学生をおもてなし

力があつたのは箱崎宮外苑で開催されたドラリオンの巨大オーディオセットのクレーン車を使った解体作業の通訳で、これはボランティアではなく、仕事でしたが、

医学会、政治学云での通訳をしたり、香港のホテル業界の通訳では広島まで同行し、宮島見物等旅行気分を味わう楽しみもありました。最近では中国の豪華客船も博多港に寄港し、ガイドの依頼も度々です。



右から3人目が筆者

金鷲旗柔道大会は中国、韓国、台湾の選手も参加し国際的にも参加してきました。解説者の井上康生さん等に直にお目にかかれるのもボランティア通訳の仕事冥利に尽きます。何と言っても一番迫

ヘルメットを被った作業は緊張の中にもやり甲斐がありました。

大学の留学生を唐津くんち、バルーン・フェスタ、長崎ランタン・フェスティバル等へ案内したり、西南ゆりの会のお茶会にお招きしたのも楽しい思い出です。昨年暮と今年9月、我が家や友人宅で留学生十数人を手料理でもてなしました。寮生活の学生さん達に日本の家屋と家庭料理を味わって貰おうと企画しましたが喜んでいただいていたので嬉しく思っています。

それから、西南学院大学の学部聴講で日本史、考古学、コミュニケーション学等興味ある学科を3年程受講を続け、更に今年9月からは留学生対象別科の授業も留学生と一緒に英語で受講しています。友人には「自宅留学よ」と言っていますが、若い頃果たせなかつた夢をこのような形で実現できて嬉しく思います。西南ゆりの会との係り合いと共に母校に通え、正に第二の青春を謳歌しています。

2007年度 西南ゆりの会事業報告  
(2007年4月1日～2008年3月31日)

- 西南ゆりの会総会  
日時 2007年6月8日(金) 17:30～18:00  
会場 ソラリア西鉄ホテル 出席者 約30名
- 西南学院大学同窓会総会 積極的に参加  
日時 2007年6月8日(金) 18:00～20:30  
会場 ソラリア西鉄ホテル
- 第20回 秋のつどい「文化祭」  
講演 「勤しむこと、楽しむこと」並びにクラシックギター演奏  
講師 前学長 村上隆太先生  
お茶会  
作品展示  
西南プリエールによる合唱  
ワイン教室(桑野綾子さんによる)  
インテリアグリーン教室(石井康子さんによる)  
日時 2007年10月20日(土) 12:00～16:30  
会場 西南コミュニティーセンター  
出席者 約120名
- 第31回 ミニサロン「お茶を楽しむつどい」  
卓話 「茶西禅師と共に中国から博多へやってきたお茶」  
講師 福岡県観光アドバイザー 岡部定一郎氏  
お煎茶のお茶会  
日時 2008年3月29日(土) 13:30～16:30  
会場 西南コミュニティーセンター  
出席者 約110名
- 機関誌「白ゆり」第15号  
2007年12月1日発行 女子卒業生全員に発送
- 大学キャンパス内聖書植物園ボランティアに参加  
西南ゆりの会が寄贈したゆりの花壇の手入れを含む  
毎月第3土曜日 2名参加(平成18年1月より実施)
- サラマッポの会援助 フィリピンの子大学生に奨学金として
- 定例役員会 原則毎月1回

2007年度 西南ゆりの会収支報告書

1.収入の部 (2007年4月1日～2008年3月31日) (単位円)

項目	収入額	備考
繰越金	13,059	前年度繰越し
同窓会補助金	400,000	大学同窓会からの活動補助金
講演会等会費	123,000	文化祭チケット売上及び御祝金
ミニサロン費	60,000	ミニサロン茶会の茶券代金500円×90名 同窓会の方々のカンパより
カンパ積立金	100,000	同窓会の方々のカンパより
雑収入	2,520	総会チケット販売還元金等
収入の部合計	698,579	

1.支出の部 (単位円)

項目	支出額	備考
講演会等会費	152,886	文化祭演奏者謝礼、文化祭費用
ミニサロン費	88,353	講演会及び茶会謝礼、お茶会費用等
慶弔渉外費	34,880	他大学イベントの出席費用、お祝金等
通信費	27,340	案内発送費、白ゆりは学院同窓会会報に同封
印刷費	299,939	「白ゆり」の作成費、白ゆり封入手数料等
会議費	21,754	役員会、委員会会場費等
寄付金	50,000	サラマッポ会へ (フィリピンの子大学生の学資支援)
雑費	5,914	振り込み手数料、事務用品代等
繰越金	17,513	2008年度へ繰越
支出の部合計	698,579	

福岡市文学賞 田村明美さん受賞



平成20年度福岡市文学賞小説部門を田村明美さん(文英61期)が受賞されました。

邪馬台国九州説を世に問いつけている歴史誌『季刊・邪馬台国』を発行する「梓書院」を昭和47年に立ち上げられて社長としての仕事を続けながらの受賞です。田村さんは、同人誌「ガランス」の同人。ペンネーム鈴木比叡子として小説を書き続け、今回の受賞はその文学的開花といえるでしょう。創作は年に3本のペース、今回の受賞作「ピクニック」は30作目の作品です。

家族の幸せ、その崩壊そして再生がテーマになっていきますが仕事と家庭のふたつのキャリアを全うしていらつしやる先輩ならではのリアリティが日常性の中に凝縮された表現で描かれた点が評価され受賞につながったのではないのでしょうか。女性が大学で学び、出版社を起し、結婚、子育てをこなしながらキャリアを積み上げるなどまだまだありえないような時代を生き抜いた先輩、いつもおしやれで知的な田村さんには我々後輩は敬服するばかりです。西南が生んだ輝き続ける女性のお手本といえるでしょう。(外英76期 納富昌子)

カンパのお礼とお願い

昨年度も多くの方々からカンパを頂戴し本当に有難うございました。当会はいわゆる固定会費を徴収せず、大学同窓会からの補助金(年額40万円)で運営されています。経常の活動費、秋のつどい等の行事、本誌「白ゆり」の制作費等々、補助金だけでは到底賄いきれない現状です。「白ゆり」につきましては、近年は発行部数を2万4千部に引き上げ、大学同窓会のご協力の下、女子同窓生全員に発送できるところになった事は望外の喜びです。これも偏に皆様からの温かいご厚志の賜物と改めて感謝し、心から御礼申し上げます。何卒、これらの事情をご賢察の上、お志のある方は一口千円(何口でも)お振込みいただきますよう、本年も切に願います。次第です。尚、昨年度カンパいただいた方のお名前を感じ

謝と共に記載させていただきました。万一、手違いの為に名前が漏れている方がおられましたら、ご面倒でも一報下さいますようお願い申し上げます。(西南ゆりの会会長 井原絹江)

安西しのぶ、石神美代子、伊藤萬里子、井上暁子、井原絹江、岩尾豊子、内海昌子、岡部葉子、小河恭子、嘉村理実、日下部千春、黒岩絹代、古賀照子、酒見澄子、佐藤このも、渋谷壽子、将口忍、高見征子、高山和代、塚田恵美子、辻隆子、永光加代子、野田光子、羽瀬川順子、松浦ゆかり、宮崎孝子、三上正子、三好敏子、矢野多美恵、山内純子、山内律子、山崎芳子、山田啓子、山本壽子、吉武美智子、吉田敏美、吉田扶久子、渡辺由美 (敬称略) 以上38名 (総額8万8千5百円)

郵便振替番号 01710-9-85645 西南ゆりの会

大学の新しいシンボル

「西南学院大学チャペル」竣工

西南学院大学の同窓生にとって最も懐かしい風景のひとつである「ランキンチャペル」(1954年、W・M・ヴォーリス設計)は、老朽化の為に昨年、多くの方々に惜しまれつつも取り壊され、新しく「西南学院大学チャペル」に建ち代わり、去る4月5日に献堂式が行われました。(株)一粒社ヴォーリス事務所設計、鹿島建設施工)



賞も受賞した西南学院大学博物館(ドージャー記念館、1921年竣工)と同様の赤レンガが使用されており、内壁には白い特注レンガが積み上げられ、美しい陰影を形作ると共に、音を拡散反射させる音響効果も併せ持っています。更に正面ファサード上部にはステンドグラスが施され、祈りの場に相応しい静謐な雰囲気醸し出しています。

09年には、ランキンチャペルで使用され、荘厳な音色を響かせていたパイプオルガン(辻宏作、第44号)も設置される予定です。また、パイプオルガンは西南学院大学博物館2階講堂にも昨秋設置されましたが、このパイプオルガンは難病と闘われた



辻宏氏の最後の作品(第82号)となりました。

新しいチャペルでは毎週火・水・木曜日、10時40分〜11時まで、週テーマに基づいた講話を中心とした礼拝形式のチャペルアワーが行われており、学生以外の一般の皆様にも開放されています。

尚、西南ゆりの会では新しいチャペルの竣工をお祝いして、2009年1月15日(木)に「西南ゆりの会新春のつどい」井上芳雄トークショーを開催致します。詳細は本誌表紙紙をご参照いただき、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

(国際85期 山内律子)

西南学院大学博物館西側に

「宣教師記念碑」設置



2006年9月の西南ゆりの会ミニサロン「建学の精神と平和への思い」で寺園喜基院長が建立への想いを語ら

れた「宣教師記念碑」が、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)西側に設置されました。2008年5月15日、西南学院創立92周年の記念日に、その除幕式が行われ、学院関係者とともに、同窓会連合会役員や西南ゆりの会役員も参列しました。

記念碑は書物台に聖書を開いた形で、重さ約1屯の黒御影石です。現在では、米国南部バプテスト宣教師団から西南学院への宣教師派遣は終わっていますが、碑にはMills Ernest Oscar(1910〜1916)からHankins Jerry Ronald(1999〜2003)までの合計75名の宣教師名と奉職年が刻まれており、西南学院の草創期から2004年の宣教師派遣終了まで、多くの宣教師の奉仕と祈りによって西南学院が大きく育ってきたことを静かに物語っています。

(国際85期 山内律子)

編集後記

初めての「白ゆり」編集で久々に何度も大学へ。アカデミックな雰囲気にも心も若返ったような気がします。博物館・聖書植物園・新チャペル。たまには学校に遊びに行ってみては如何ですか。クロスプラザのカレーはお勧めです。(国際84期 大嶋悦子)

今回「白ゆり15号」の編集取り纏め役を仰せつかって、「うっ、仕事がつまっているのにな」との思いがありました。が、編集委員の方々、諸先輩方の全面的な協力をいただいた。なんとか発行にこぎ着けることができました。

(外英77期 山崎芳子)